

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公表番号】特表 2008-545299 (P2008-545299A)

【公表日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報 2008-049

【出願番号】特願 2008-511447 (P2008-511447)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/10 (2006.01)

G 0 1 C 21/28 (2006.01)

G 0 1 S 5/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/10 A

G 0 1 C 21/00 D

G 0 1 S 5/14

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 7 日 (2011.12.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 4】

干渉除去アルゴリズムの第 2 実施形態は、簡略化された処理を使用する。アンテナ重み成分は、最も強いナビゲーションビーコン信号を正確に除去するために各アンテナで受信された最も強いナビゲーションビーコン信号の測定値に基づいて選択される。 a_1 および a_2 が 2 つのアンテナ (アンテナ # 1 およびアンテナ # 2) のそれぞれでの最も強いナビゲーションビーコン信号の複素電圧とすると、その最も強いナビゲーションビーコン信号を除去するために、アンテナ重み成分 w_1 および w_2 を、 $w_1 = -a_1$ および $w_2 = a_2$ となるように設定する。ここで、 $w_1 * a_1 + w_2 * a_2$ はゼロに等しく、最も強いナビゲーションビーコン信号を除去する。マルチプルの強いナビゲーションビーコン信号がある場合、マルチプルの強いナビゲーションビーコン信号のうちのできるだけ多くを除去するように複素アンテナ重み成分を設定する。3 つの強いナビゲーションビーコン信号を使用する例では、アンテナ # 1 によって受信された 3 つの強いナビゲーションビーコン信号の複素電圧が x_1 、 y_1 および z_1 であり、アンテナ # 2 によって受信された 3 つの強いナビゲーションビーコン信号の複素電圧が x_2 、 y_2 および z_2 であると仮定する。アンテナ # 1 での複素電圧の合計が $S_1 = x_1 + y_1 + z_1$ であり、アンテナ # 2 での複素電圧の合計が $S_2 = x_2 + y_2 + z_2$ であるとする、アンテナ重み成分 w_1 および w_2 は、他のより弱いナビゲーションビーコン信号がアンテナによって検出可能であるように適当なトレードオフで 3 つの強いナビゲーションビーコン信号を除去するために $w_1 = -S_2$ および $w_2 = S_1$ に設定されるべきである。例ではアンテナ重み成分を計算するために特定の数式が示されているが、他の数式が本発明の範囲を侵害することなくアンテナ重み成分のために使用されることができ、これを当業者は理解するであろう。さらに、本発明は特定の数の強いナビゲーションビーコン信号だけを除去することに限定されないことを当業者は理解しているであろう。そうではなく、所望の数の強いナビゲーションビーコン信号を除去するためにアンテナ重み成分を複数の強いナビゲーションビーコン信号の複素電圧の合計に適用することが当業者には理解されているであろう。